

東京都農業会議情報

第333号 平成25年3月

編集及び発行 東京都農業会議

渋谷区代々木2-10-12
TEL 03-3370-7145

第54回東京都農業委員・農業者大会開く

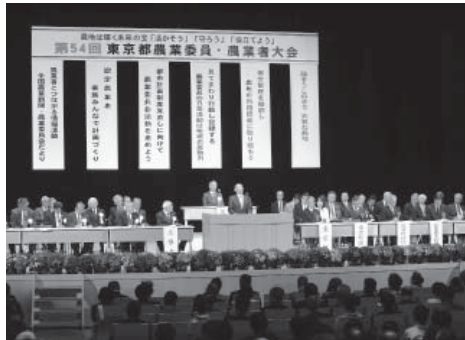
農業委員など約900人が参加

東京都農業会議と地区農業委員会協議会・連合会は、2月28日に、羽村市生涯学習センターゆとろぎにて「第54回東京都農業委員・農業者大会」を開きました。

大会は、農業委員・農業会議員・企業的農業経営者など約900人が参加しました。午後1時に南多摩農業委員会協議会の吉川会長（町田市農業委員会）の開会挨拶には



参加者は約900人を数えた



大会では要望と決議が決定された

じまり、波多野会長が主催者挨拶をし、引き続き東京都農業振興事務所の駒所長、東京都議会の吉野議員、全国農業会議所の柚木事務局長、区市町村代表として奥多摩町の河村町長、JA東京中央会の須藤副会長が、それぞれ祝辞を述べました。

その後、東京都農業会議の原事務局長が経過報告を行い



顕彰者・功労者の表彰が行われた

「東京農業の確立に関する要望」を、あきる野市の平野農業委員会会長が「都市農業の振興と都市農地保全に関する要望」をそれぞれ提案し、足立区の大熊農業委員会会長が意見を表明しました。（関連記事3面）

要望案と決議案は、ともに

続いて、区内農業委員会協議会の清水会長（葛飾区農業委員会）が「農業委員会活動の積極的推進に関する決議」を提案し、調布市の杉崎農業委員会会長が意見を表明しました。

ました。

協議では、西多

摩地方農業委員会連合会の宮川会長（羽村市農業委員会）が議長に選出され、清瀬市の山村農業委員会会長が

「東京農業の確立

満場一致で決定されました。（関連記事3面）

この決定を受け、都農業経



代表受賞する顕彰者

営者クラブの岸野副会長（日野市農業経営者クラブ会長）が、農業者の代表として決意表明をしました。協議終了後の記念行事では、第52回企業的農業経営顕彰37経営・集団、第32回農業後継者顕彰33名、第39回農業委員会等功労者表彰6名（農業委員）、感謝状38名（農業功労者30名・職員8名）に表彰状・感謝状の授与が行われました。（表彰者芳名は4面に掲載）

平成25年度事業計画・予算

東京都農業施策に関する建議など決定

第112回東京都農業会議通常総会

都農業会議は、3月18日に南新宿ビルで第112回通常総会を開きました。

議事では、①平成24年度予算の一部修正、②平成25年度事業計画、③歳入・歳出予算の設定、④賛助員拠出金額・時期及び方法、⑤借入金最高限度額、⑥預入先金融機関、⑦平成26年度東京都農業施策に関する建議の7議案について、満場一致で決定しました。

当面の農政問題では、農業委員会制度、TPP交渉、税制改正大綱などの情勢を報告しました。



挨拶を述べる波多野会長

協議では、平成25年度農業委員会活動推進要領（関連記事2面）を決定し、引き続き積極的に取り組むこととしま

農業委員会活動の積極的推進に

関する決議要旨

第54回東京都農業委員・農業者大会において「農業委員会活動の積極的推進に関する決議」を決定しました。

本決議は、農業委員会のさらなる積極的な活動に向け決定したものです。

なお、本決議をもとに、通常総会において「平成25年度農業委員会活動推進要領」を決定しました。

主な内容は左記のとおり。
農業委員会活動の積極的推進に関する決議(要旨)

平成25年度は、都市計画制度の見直し等が進められ、よりの確な情報提供と、より一層の農地の保全と利用促進が求められることから、農業委員会の機能を発揮すべく、重点の「伝える」活動をはじめ積極的な活動に取り組み、農業委員による地域活動を推進すべく、引き続き「農地をいかし、地域を育てゆく活動Ⅲ」に取り組み。
平成25年度農業委員会活動推進要領(要旨)
1. 農地をいかし、地域を育てゆく活動Ⅲの推進
2. 重点活動

①「伝える」活動の推進

利益代表機関としての機能を発揮すべく、多様な手段により、重要な情報を提供するとともに、農地制度のさらなる浸透をはかる。

②農地の保全・利用促進活動の推進

農地の状況をつねに把握し、農地利用状況調査等による農地の保全・利用促進に向けた活動を進める。
農地利用状況調査の効果的推進。
生産緑地追加指定の推進。
(市街化区域)

農業経営基盤強化促進法による利用権の設定を進める。
(市街化区域以外)
③建議活動等の実施
「伝える」活動等を通じて農業者の意見等を集約し、区市町村長への建議、要請活動に結びつける。

3. 統一活動

◆農業委員会組織活動
農業委員会の機能を発揮する農地をいかさ活動の推進
①担い手の育成と農業経営支援活動
農業経営・農地利用計画作

成運動の推進。

認定農業者制度の推進および支援活動。
農業経営支援活動の実施。
家族経営協定を推進する。
農業者年金への加入推進に取り組み。

②農業と市民との架け橋活動
市民との交流活動の推進。
教育・福祉との連携を強化する。

③啓発活動の推進
農委会だよりを発行する。
全国農業新聞と全国農業図書の普及と活用を進める。
広報やホームページ等を活用し、地域農業や農業委員会に関する情報を提供する。

◆農業委員日常活動
地域を見てまわり、行動し記録する「地域を育てゆく活動」の推進
農業委員ひとりひとりの取り組みが組織の原動力となることから、日常活動において、「地域を育てゆく活動」を進める。

①農地の肥培管理と利用促進
②農業委員活動記録カードの活用の推進
③農業者への支援活動
④地域農業の確立に向けた連携活動
⑤情報収集・情報発信の推進

常任会議員だより

第10回常任会議員会議

平成25年1月17日に開催し、状況は次のとおり。
議事

①農地法の知事諮問は、第5条2件1446・111㎡を許可相当と答申する旨を決定した。②本会事務局長の勤務継続を決定した。

協議

①第39回農業委員会等功労者表彰者を決定した。

②農政問題では、自民党都市農業研究会の相続税引き上げ反対決議、所得税・相続税等の税制改正の概要、TPP交渉などの動向を報告した。

説明

平野都食料安全課長が都内産農林水産物の放射性物質検査の状況および堆肥生産などについて説明した。

第11回常任会議員会議

平成25年2月18日に開催し、状況は次のとおり。

議事

農地法の知事諮問は、第4条1件474㎡、第5条4件3002㎡を許可相当と答申する旨決定した。

協議

①第112回通常総会開催計画・提出議案を決定するとともに、平成26年度東京都農業施策に関する建議案について協議し、総会に提出することとした。②「農業委員活動記録」推進要領を決定し、積極的に取り組むこととした。③農政問題では、税制改正大綱、農林水産省・国土交通省および東京都の農業関係予算の概要を説明した。

第12回常任会議員会議

平成25年3月18日に開催し、状況は次のとおり。

議事

①農地法の知事諮問は、第4条1件450㎡、第5条4件3060㎡を許可相当と答申する旨を決定した。

②本年度の歳入・歳出予算の一部修正について決定した。

協議

認定農業者制度の推進と農業委員会との意見交換会の状況について、全国農業会議所に報告することを決定した。

東京農業の確立に関する要望 都市農業の振興と都市農地保全に関する要望

第54回東京都農業委員・農業者大会で決定した国への要望の要約は左記のとおりです。なお、全文は東京都農業会議のホームページでもご覧いただけます。
(<http://www.tokaiji.com/>)

東京農業の確立に関する要望

1. 農業者が希望を持てる農業政策の確立

国の農業政策においては土地利用型農業への偏重を改め、農地集積を進められない地域を包摂した政策へ転換すること。

2. 担い手の育成・支援と経営安定対策の確立

(1) 新たな直接支払制度の確立
現行の所得政策で対象となっていない分野・品目等を含めた、農業のもつ多面的機能も評価した新しい直接支払制度を確立すること。

(2) 多様な経営安定対策の確立

農家が自ら選択できる多様な経営安定対策を確立すること。

(3) 認定農業者の経営改善を後

押しする支援施策の拡充

3. 地域農業の振興

(1) 農業振興地域等の担い手支援と農地確保対策の推進

農業振興地域や市街化調整区域において担い手の確保と経営の円滑化がはかられるよう支援施策を拡充すること。

(2) 再生可能エネルギー設備の導入に対する支援

農家が畜舎や作業場等を整備する際、あわせて再生可能エネルギー設備を積極的に導入できるように支援施策を創設すること。

(3) 山村・離島振興のための施策の拡充

4. TPP交渉参加への反対とEPA・FTA交渉への慎重な対応

(1) TPP交渉への参加の反対

(2) EPA・FTA交渉への慎重な対応

5. 食の安全・安心の確保と地産地消の促進

(1) 地産地消の推進

(2) 安全・安心な国産農産物の利用促進

(3) 食農教育の推進

6. 原子力発電所事故に伴う農産物等の放射性物質汚染への対策

農産物等の放射性物質汚染に対しては、風評被害を含めた全ての被害に対する賠償措置を確実にを行うこと。
現在は自粛している落葉・剪定枝を原料にした堆肥生産が一日も早く再開できるように早急に方針と対策を確立すること。

7. 農業委員会組織の体制強化

地域の「土地と人」を熟知した農業委員会及びその系統組織の組織強化を行うこと。

8. 物納農地の管理徹底

9. 国有農地の早期解消の強化

10. 動植物に対する防疫体制の強化

(1) ウメ輪紋ウイルス対策の強化

(2) 鳥インフルエンザおよび口蹄疫に対する防疫体制の強化

11. 有害鳥獣対策の強化

有害鳥獣は区市町村や都道府県単位ごとの解決が難しいことから、農政局を単位として駆除を含めた抜本的な対策を講ずること。

12. 山林保全対策の推進

都市農業の振興と都市農地保全に関する要望

1. 都市農業を保全する政策の法制化と振興施策の確立

(1) 「都市農業基本法(仮称)」の制定

(2) 都市計画制度ならびに税制の早急な見直し

(3) 都市農業振興施策の構築

農用地区域などに限定している国の農業施策を都市およびその周辺まで拡大するとともに面積等の事業要件を緩和すること。

2. 生産緑地法・相続税等納税猶予制度の基本堅持と必要な見直し

(1) 生産緑地法・相続税等納税猶予制度の基本堅持

(2) 営農困難時貸付けの改善

(3) 制度適用農地の収用交換及び買い換え特例に対する要件緩和

(4) 収用の際の相続税等納税猶予制度の利子税免除

(5) 相続税等納税猶予制度の一部免除規定の創設

(6) 一定割合を超えた納税猶予額の免除

(7) 相続税納税猶予適用申請にかかる期限の緩和

(8) 生産緑地指定の推進

500㎡以上という規模の要件を廃止すること。

3. 都市農地等保全のための新たな制度の構築

現行の生産緑地法・相続税等納税猶予制度の基本は堅持したうえで、農地等所有者の意向に基づき新たな都市農地等の保全制度を構築すること。

4. 都市農地等の保全と利用促進のための制度の充実

(1) 農地の譲渡にかかる特例措置の要件緩和と控除額の増額

(2) 農業生産法人が取得する農地に関する評価の適正化

(3) 生前に農地の一部分を贈与する制度の創設

5. 相続財産評価の適正化

(1) 相続財産の適正評価と物納を認める制度改善

(2) 小規模宅地等の課税価格に関する特例の面積拡大

(3) 山林・平地林の相続税軽減

(4) 相続財産評価に関する特定市民農園控除の要件緩和

6. 都市農地の保全に欠かせない農業委員会の組織強化

都市農地の保全と利用促進に欠くことのできない農業委員会系統組織の役割を重視し

組織の強化をはかること。

受賞者芳名 (敬称略)

第52回企業の農業経営顕彰受賞者

1. 東京都農業会議会長賞

野菜部門 河原正幸・久美子(世田谷区) 小野実・成子(杉並区) 土井孝一(板橋区) 尾崎賀一・悦子(練馬区) 本橋邦浩・尚子(練馬区) 市川恵一・輝子(足立区) 齊藤健二・聖子(江戸川区) 加藤芳秋・よしの(羽村市) 町田裕通・公子(八王子市) 田中進典・五十子(町田市) 内野英樹・美津枝(立川市) 田中恒男・陽子(武蔵野市) 富澤和也・喜代子(三鷹市) 鹿島一夫・由美子(府中市) 荒井克己・里江(調布市) 遠藤好照・かなめ(調布市) 中島仁・右子(小平市) 関野泰広・祐子(東村山市) 小坂良夫・仁乃(国分寺市) 関修三・芳子(清瀬市) 浅見哲也・安子(東久留米市) 花き部門 岩沢宏・洋子(日野市) 小室栄治・育子(昭島市) 佐伯雅宏(国立市) 中村治代・隆儀(神津島村) 沖山義和(八丈町) 植木部門 吉岡榮・房子(世田谷区) 松本信一(狛江市) 果樹部門 石川毅・照子(青梅市) 横田忠・妙子(稲城市)

宮崎晃・せつ子(東大和市) 特用作物部門 古川宗昭(瑞穂町) 森谷良孝・民子(武蔵村山市) 複合部門 井口繁義・光江(杉並区) 竹松勇・佐智子(小平市) 集団活動の部 五日市のらぼう部会(あきる野市) J A東京みらい清瀬市花卉クラブ(清瀬市)

2. 東京都産業労働局長賞

野菜部門 齊藤健二・聖子(江戸川区) 田中進典・五十子(町田市) 内野英樹・美津枝(立川市) 鹿島一夫・由美子(府中市) 中島仁・右子(小平市) 浅見哲也・安子(東久留米市) 果樹部門 石川毅・照子(青梅市) 宮崎晃・せつ子(東大和市)

3. 全国農業会議所会長賞

野菜部門 河原正幸・久美子(世田谷区) 尾崎賀一・悦子(練馬区) 市川恵一・輝子(足立区) 加藤芳秋・よしの(羽村市) 町田裕通・公子(八王子市) 遠藤好照・かなめ(調布市) 関野泰広・祐子(東村山市) 花き部門 中村治代・隆儀(神津島村) 複合部門 竹松勇・佐智子(小平市) 集団活動の部 五日市のら

らぼう部会(あきる野市) J A東京みらい清瀬市花卉クラブ(清瀬市) 4. 東京都知事賞 野菜部門 本橋邦浩・尚子(練馬区) 小坂良夫・仁乃(国分寺市) 関修三・芳子(清瀬市) 花き部門 岩沢宏・洋子(日野市) 小室栄治・育子(昭島市) 植木部門 吉岡榮・房子(世田谷区) 果樹部門 横田忠・妙子(稲城市) 特用作物部門 古川宗昭(瑞穂町)

第32回農業後継者顕彰受賞者

1. 東京都農業会議会長賞

田中秀一(練馬区) 柴田正貴・有里(葛飾区) 生田都弘(江戸川区) 中代秀崇・季巳代(江戸川区) 川口悠・里奈(青梅市) 中村明雄(あきる野市) 丹生範仁(瑞穂町) 小俣行弘・まゆみ(八王子市) 廣瀬康久(町田市) 山本政和(稲城市) 小野村哲彦・千恵(立川市) 村野吉一・美由紀(立川市) 櫻井敏史(武蔵野市) 須藤金一・葉子(三鷹市) 根岸隆好・千鶴(三鷹市) 菊池伸明・典子(府中市) 小町裕司・瑞青(昭島市)

島市) 小林芳一・栄子(調布市) 齊藤修太郎・由美子(調布市) 加藤博文(小平市) 中村利行・裕美(小平市) 荻野茂樹(東村山市) 榎本誠・由美(東村山市) 榎戸敦史(国分寺市) 清水謙一・由紀子(国分寺市) 三田高德・栄美(国立市) 貫井慎介・恭子(西東京市) 伊東和明・悦子(武蔵村山市) 小俣靖史(清瀬市) 坂間康成(清瀬市) 村野健一・渚子(清瀬市) 篠宮武博・由布子(東久留米市) 光常展永(八丈町)

2. 全国農業会議所会長賞

丹生範仁(瑞穂町) 小俣行弘・まゆみ(八王子市) 村野吉一・美由紀(立川市) 小林芳一・栄子(調布市) 伊東和明・悦子(武蔵村山市) 小俣靖史(清瀬市)

3. 東京都知事賞

川口悠・里奈(青梅市) 中村明雄(あきる野市) 中村利行・裕美(小平市) 貫井慎介・恭子(西東京市) 坂間康成(清瀬市) 村野健一・渚子(清瀬市)

第39回農業委員会等功労者表彰者

1. 東京都農業会議会長表彰

農業委員 穂戸田弘悦(葛飾区) 宮田昇(日の出町) 増田昭太郎(奥多摩町)

吉川庄衛(町田市) 鈴木一治(府中市) 浅沼大二郎(八丈町)

2. 農業功労者感謝状

農業功労者 佐藤光雄(世田谷区) 内藤隆(杉並区) 藤島茂(板橋区) 浅見喜代司(練馬区) 新井宏治(足立区) 森博司(江戸川区) 小杉信太郎(目黒区) 福岡啓司(青梅市) 町田盛彰(福生市) 堀部晋(あきる野市) 羽村元一(羽村市) 西村喜三(瑞穂町) 瀬沼一次(八王子市) 石川公雄(町田市) 鈴木富一郎(日野市) 伊野隆俊(多摩市) 川野好司(立川市) 榎本清(武蔵野市) 海老澤基一(三鷹市) 小松原憲一(府中市) 中野廣(昭島市) 板橋幸正(調布市) 清水正夫(小金井市) 中島夕々(小平市) 野崎芳男(東村山市) 水村實(国分寺市) 遠藤精子(国立市) 石井貞男(狛江市) 和地よし子(東大和市) 関武司(清瀬市)

3. 東京都農業会議会長感謝状

農業委員会等職員 黒沼順子(世田谷区) 松尾勇(日の出町) 横井陽子(八王子市) 大海謙一(日野市) 富澤浩(多摩市) 小俣己知雄(東村山市) 小山慎一(東村山市) 峰岸義治(清瀬市)

優良農業経営者を表彰

北多摩地区農業委員会連合

北多摩地区農業委員会連合会(肥沼和夫会長)東村山市は、このほど東村山市役所において、平成24年度優良農業経営者表彰と記念講演会を開きました。

表彰式では、17市から推薦された地域を代表する経営者に表彰状が授与されました。引き続き、アグリビジネスサービスの土居龍一代表取締役より「今、なぜ都市農業の

業態改革なのか」をテーマに講演が行われました。



受賞者を激励し都市農業への提案を行った土居龍一氏

農業体験農園などの取り組みを研究

南多摩地区農業委員会協議会

南多摩地区農業委員会協議会(吉川庄衛会長)町田市は、2月15日に稲城市で講演会を開きました。

講演は、小平市で農業体験農園を開設する農業委員の粕



小平市で開園する学習型農業体験農園「みのり村」の様々な取り組みを紹介する粕谷氏

新たな農業の担い手づくりをスタート

八丈町農業担い手育成研修センター
神津島村田の沢農業研修施設

八丈町農業担い手育成研修センターでは、一期生が全課程を修了し独立就農したことを機に二期生を募集しました。

本センターは、八丈町で新規就農を希望する者を対象に研修を行い、島の独立就農に導くことを目的に設置されました。

平成25年4月より4年間にわたり、新たに3人が二期目の研修生として、ストロングハウスでレザーファンやルスカスなどの生産技術や農業経営を学ぶこととなりました。神津島村では、新たに、神

認定農業者セミナーで「売れる農産物づくり」などを研究

足立区

足立区で、このほど「足立区産の野菜は求められている」収益性の高い農業経営の実現に向けて「売れる農産物づくり」をテーマに、足立区認定農業者セミナーが開かれました。

セミナーでは、同区産業振興課より認定農業者関連の事業の説明が行われ、引き続き中小企業診断士の佐藤卓氏の「売れる農産物づくりへの挑戦」と題した講演、また中央



セミナーでは売れる農産物づくりのほか事例研究を行った

農業改良普及センターより経営事例の紹介がされました。

津島村田の沢農業研修施設を設置し、平成25年4月より5年間の課程で島内在住者を対象に募集を行い、2人が研修生としてスタートすることとなりました。

ストロングハウス7棟でレザーファン、また露地で、あしたばの栽培技術を学び、出荷なども行う予定です。指導

実践的な簿記記帳をマスター

世田谷区農業委員会
小平市農業委員会
東京都農業会議

世田谷区と小平市でこのほど、認定農業者等を対象とする簿記記帳講習会が開かれました。それぞれの区市と都農業会議の共催で企画したもので、講師は都農業会議職員が務めました。

世田谷区では3月1日に三軒茶屋分庁舎で開かれ、参加者は簿記の基礎について学んだほか、仕訳や決算などの演習を行いました。

また、後半は1人1台のパソコンを使い、会計ソフトを使ってパソコンでの実践的な記帳を体験しました。小平市では3月5日にJA



池袋で開かれた新農業人フェアで八丈町農業担い手育成研修センターについて紹介する



実践的な簿記記帳を学ぶ参加者

平成25年度 主要行事日程

平成25年2月22日現在

月	旬	農業会議	会議等出席者	その他
25年	中	農業委員会職員基礎研修会 (12(金))	職員	全国情報会議 (10(水))
4月	下	常任会議員会議 (17(水)) 生産緑地・相続税納税猶予制度基礎研修会 (23(火))	常任会議員 職員	
5月	上	賛助員協議会/互選会 (8(水))	会長・主管課長	都職研総会・役員会 (29(水)) 全国会長大会 (30(木))
	中	農業委員会活動研究会 (14(火))	該当職員	
	下	常任会議員会議 (17(金))	常任会議員	
		会長職務代理者研究集会 (22(水))	会長職務代理・職員	
		農業者年金担当者会議 (27(月)) 農地流動化担当者会議 (28(火)) 認定農業者等担い手支援会議/主任職員協議会 (29(水))	職員 該当職員 職員/職員	
6月	上	相続税等納税猶予制度実務研究会 (3(月))	職員	農業経営者クラブ総会 (14(金)) 島しょ大会 (20(木)~21(金))
	中	常任会議員会議 (17(月))	常任会議員	
	下	監査会 (21(金)) 生産緑地制度研究会 (24(月)) 夏季地区別検討会 (北北 26(水)、北南 27(木)、北西 28(金))	監査委員 職員 会長・職代・職員	
7月	上	夏季地区別検討会 (区 1(月)、南 2(火)、西 3(水))	会長・職代・職員	
	中	広報研究会 (16(火))	農業委員・職員	
		常任会議員会議 (17(水))	常任会議員	
	下	農地台帳システム研究会 (19(金)) 農業委員研修 (区 25(木)) 農業委員研修 (西 30(火))	職員 農業委員・職員 農業委員・職員	
8月	上	農地専門職員研修会 (1(木)~2(金))	職員	都職研全体研究集会・ 役員会 (30(金))
		農業委員会活動研究会 (6(火))	該当職員	
		農業委員研修会 (南 7(水))	農業委員・職員	
		農業委員研修会 (北 9(金)) 府中市	農業委員・職員	
	中	農業会議通常総会/常任会議員会議 (16(金))	会長/常任会議員	
	下	女性農委現地研究会 (23(金))	女性農業委員・職員	
		農地流動化会議 (29(木))	該当職員	
		認定農業者等担い手会議/主任職員協議会 (30(金))	職員	
9月	上	農委会職員現地研究会 (6(金))	職員	
	中	常任会議員会議 (17(火))	常任会議員	
	下	農地部会長研究集会 (27(金))	農地部会長・職員	
10月	上	農地利用促進方策現地研究会 (3(木))	該当職員	東日本ブロック農委会 職員現地研究会 (10/22(火)~23(水))
	中	経営部会長研究集会 (11(金))	経営部会長・職員	
	下	常任会議員会議 (17(木)) 会長現地研究会 (28(月)~29(火): 兵庫県姫路市)	常任会議員 会長・職員	
11月	上	賛助員協議会 (7(木))	会長・主管課長	
	中	監査会/常任会議員会議 (15(金))	監査委員/常任会議員	
	下	農業委員会活動推進フォーラム (21(木)) 府中市	農業委員・職員	
		農業者年金制度研究会 (28(木)) 地区別職員検討会 (島しょ 29(金))	農業委員・職員 職員	
12月	上	地区別職員検討会 (区 2(月)、南 3(火)、西 4(水)、北南 10(火)、	職員	全国農委会長代表者集 会 (5(木))
	中	北北 11(水)、北西 12(木)) 常任会議員会議 (17(火))	常任会議員	
26年	中	常任会議員会議 (17(金))	常任会議員	
1月	下	冬季地区別検討会 (島しょ 16(木)、北北 21(火)、北南 22 (水)、北西 24(金)、区 27(月)、南 28(火)、西 29(水)) 組織・活動検討会 (31(金))	会長・職代・職員 地区協ほか	
2月	上	農業委員会活動研究会 (5(水))	該当職員	
		組織・活動検討会 (7(金))	地区協ほか	
	中	常任会議員会議 (17(月))	常任会議員	
	下	第55回東京都農業委員・農業者大会 (27(木)) 昭島市	農委・職員ほか	
3月	上	主任職員協議会 (7(金))	職員	都職研役員会 (7(金))
	中	農業会議通常総会/常任会議員会議 (17(月))	会長/常任会議員	

* 地区協=地区協議会連合・連合会正副会長

上記日程につきましては、変更する場合がありますのでお含み下さい